

# せりょう園

[発行] 社会福祉法人はりま福祉会 特別養護老人ホームせりょう園

〒675-0016 兵庫県加古川市野口町長砂 95-20 TEL 079-421-7156 FAX 079-421-6422

平成22年 6月 第112号 年間購読料1,000円(1部100円)

メール seiryoen@bb.banban.jp ホームページ <http://www.seiryoen.or.jp>

## 地域包括ケアへの課題— (1)

地域包括ケア研究会が、2025年を目途に地域包括ケアシステムの構築を目指して、最期まで地域の中で自分らしく生きたいと願う多くの人に応える為に、様々な提言をしています。

2025年～2035年の10年間は、団塊の世代が75歳～85歳を過ごす時期であり、高齢者対策がピークを迎えると考えられます。そして2040年を過ぎると、団塊の世代の全員が90歳を超えて、凡そ8割～9割の人がその人生を締め括っている、と予測されます。

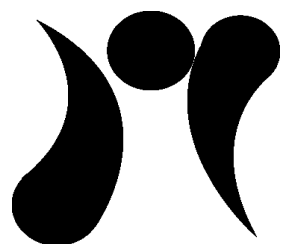
介護保険制度が、5年の経過を踏まえて『予防重視型システム』に転換し、その中核を担う地域包括支援センターが創設されて、5年目に入りました。

現在の介護現場で、ご家族や介護職が直面する課題や、地域社会の状況を踏まえて、地域包括ケアシステム構築に向けての課題を整理したいと思います。

### ① 亡くなる人の8割が病院で最期を迎えている現状に潜む課題

老いの過程に身を置く人にとっては、自然に行き着く先が『死』であり、自然物として自らの生命活動を完結させる責任があり、そして社会人として、誇りを持って自らの人生を締め括り、次の世代に社会を引継ぐ責任があります。其れは人生最後の、たった一度のチャンスです。人生を締め括る姿に向き合い、その姿に潜む誇りと覚悟に気づき、其れに応えることが、介護者が心得るべき、死に逝く人への最善の礼儀です。

<次ページへ続く>



歌舞伎役者は、親の死目に合うことよりも舞台を務める事を優先して、死に逝く親の覚悟に応えます。その舞台を支える自らの思想と覚悟が、遺伝子以外に親から引継ぐ最も大切な遺産であり、其れが人間国宝の芸を引継ぐ礎となります。

親の死に逝く姿には、命より大切なものを子に託そうとする、親の覚悟が潜んでいます。

しかし現在の介護現場では、ご利用者の死は避けるべき最大のリスクであり、死に繋がる事故を巡ってご家族との紛争や訴訟も頻繁に生じています。介護現場でご利用者の死に直面した時、死を避ける為の最大限の努力をしたかどうか、が鋭く問われ、最大限の努力でなければ責任を問われ兼ねない雰囲気があります。そして現実的に死を迎える場の8割が病院であり、地域社会の日常生活の中で、死を見届け見送る場面には殆ど遭遇しなくなりました。

要介護にならないように、重度化しないように、と求める介護予防の下で、死を避ける努力が先行して、最期が視野に入ると入院し延命処置をして、亡くなる人の82.6%が病院で最期を迎えています。

其れが高齢者医療費の増加にも繋がっていますが、その延命にも満足感がもてずに、しかしながら、確たる信念も持てずに、多くの人が複雑な心境の中で、医療に委ねた看取りを行っているのが実情です。

医療に委ねて、死を避ける努力への安堵感で自らを納得させる結果、死に向かう命の懸命な営みを体感することもなく、死を肯定する思想に気付くこともなく、死に逝く親との貴重な時間を漫然と遣り過ごしています。そして、親世代の生きる覚悟や生きる力を、若い人たちが引継げないで、持続不能な社会に向かっています。

次の世代の若者が、結婚をせず、子供を産まず、生まれた子供を育てられず、多くの人が自殺しています。自殺者が、12年連続して3万人を超えています。親世代の生きる覚悟や生きる力を、若い人たちが引継げないで、持続不能な社会に向かっています。

予防を重視しても、必ず看取りの時が訪れるのが老いの現実です。その現実の中では、予防重視ではなく、看取り介護に焦点を当てた制度と仕組みを創り、看取りを支える思想を整え、日常の生活の中でより良き最期を迎える為の準備をする事が、高齢者介護の本質です。

死を受け止める思想を介護に吹き込み、次の世代の生きる力につなげる事が、地域包括ケアシステムを構築する為の最重要課題であり、出発点です。

地域包括ケアシステムの目的は、高齢者介護と子育て支援が、自然に結び付いている地域社会を実現する事だと、しっかりと確認しておきたいと願います。

## 平成22年度第1回グループホーム・小規模多機能運営推進会議の報告

- 日時 平成22年5月29日(土) 14:00~16:00 特養1Fホールにて
- 参加者 運営推進委員: 10名 ケアハウス施設長 家族: 1名 職員: 2名
- 内容
- ・ 行事報告(お花見昼食会、ヴァイオリンリサイタルの案内)
  - ・ 2市2町グループホーム協会勉強会の報告
  - ・ 第145回『介護についてみんなで語ろう会』の報告
  - ・ 平成21年度事業報告(資料添付)
  - ・ ターミナルケアの報告(3名)

上記報告後に意見交換

ターミナルケアについて

- \*最後の自己実現の場である死に場所をどこにしたいのか自身でよく考え、周りの人に伝えておく
- \*自宅で家族で見送ることはしんどいことだと思うが、ヘルパー・訪看等の制度を上手く利用しながら出来るだけ本人の希望に添う努力をしていく

介護者に依る虐待、介護殺人について

- \*介護殺人に対しての刑の執行については介護者に同情をする傾向があり、執行猶予の判決になっていることが多い
- \*事件が起こる前に介護の必要な人が安心して暮らせる環境を国が創るべきではないか
- \*現状の年金額では親の面倒を見る余裕がない

居住空間について(個室のメリット・デメリット)

- \*対人関係が上手くいかなくなった時、逃げ場所があることでストレスが軽減出来るのでは
- \*主体性のある生活の実現が可能になる
- \*ターミナル期、その他希望があれば家族がいつでも宿泊出来る
- \*室内での転倒・転落等のリスクが生じた時、即対応が出来ないこともある

以上、入居者のご家族・地域の委員の方・施設サイドから色々な意見がでた  
次回の運営推進会議は平成22年7月31日(土)と決め、会を終了した

### ケアハウス等空き情報 <平成22年 6月15日現在>

《ケアハウス》

- |           |          |          |          |
|-----------|----------|----------|----------|
| ・めぐみ苑     | : 1人部屋1室 | ・虹のつばはりま | : 1人部屋1室 |
| ・ケアハウスアリア | : 1人部屋7室 | ・あさなぎ    | : 1人部屋1室 |
|           | : 2人部屋1室 |          | : 2人部屋1室 |
| ・青山苑      | : 1人部屋1室 | ・香楽園     | : 1人部屋4室 |
|           | : 2人部屋1室 |          | : 2人部屋1室 |

[問合せ先]せいのりょう園介護相談室

TEL(079)421-7156/(079)424-3433



講師 浄土真宗大谷派光念寺 本田 正尚ご住職

今月の仏教講話は加古川町寺家町、浄土真宗大谷派、光念寺 本田正尚ご住職に来て頂いた。本田ご住職には3年前、当園の仏教講話が始まったばかりの頃に、一度ご講話頂いた。先月ご講話頂いた鶴林寺、幹ご住職と共に加古川市仏教会の要職にあられ、その時からのご縁で毎月仏教会からご住職を紹介して頂いている。講話は最初に浄土真宗大谷派について、大谷派とは東本願寺(通称おひがしさん)を総本山とする宗派であり、西本願寺を総本山とする宗派は本願寺派と呼ばれる。浄土真宗は親鸞(1173～1262)を宗祖とし、鎌倉時代に本願寺8世蓮如上人(1415～1499)によって大きく広まったとされる。当時は現代では考えられない世情不安で、一般人の教育レベルも低い時代であったと思われるが、蓮如は親鸞の教えを分かり易く短い言葉にまとめて説いた『御文書(御文:おふみ)』を著し、広く民衆に伝え本願寺は爆発的に発展していった。当時はまだ『一つの本願寺』の時代であった。御文書(ごぶんしょ)の数は80通にも上り、現在も法事などで『正信偈:しょうしんげ』(親鸞聖人の著:教行信証の中にある偈文)の後、お勤めされることがあるらしい。その中の一つ『末代無智章』を紹介された。「末代無智の末代とはお釈迦さんが亡くなられてから2千年以上も後に生を受けた、お釈迦さんの御利益(ごりやく)の薄い者達。無智とは同じ過ちを繰り返す、学習能力に乏しい様をいいます。しかしそういう者であっても一心に信心すれば阿弥陀如来は必ず救いします。人が往生出来るのは阿弥陀仏の本願によってであり、この道理を信じること(信心)によって、往生することができます。この信心も阿弥陀仏から賜ったものであるから、すべてが阿弥陀仏の働きであるとし、これを『他力本願(たりきほんがん)』と呼びます。」

このようなご講話を聞くと、やはり親鸞の説く『悪人正機説』を意識してしまう。これは既に親鸞の師・法然に見られる思想であるが、これを教義的に整備したのが親鸞であるともいわれる。「歎異抄」にく善人なおもて往生をとぐ、いわんや悪人をや(善人が極楽往生できるのなら、悪人ができないはずが無い)とは、「他力本願」とも関係する思想の様に思えるが、その意味は、く人間は自力で善(往生の手段となる行為)を成すことは不可能である。人間はすべて悪(往生の手段とならない行為)しかなせない。だから、悪人と自覚している人間の方が、自分は善人だと思っている人間より、本願により救われる道を自覚していることになる」という逆説的な表現をしている。

しかし人間は誰しも常に幸せを、今よりもましな生活を望み、夢見ます。追い求めます。ここでカール・ブッセの詩を紹介される。

山のあなたの空遠く「幸」住むと人のいふ。

ああ、われひとと尋(と)めゆきて、涙さぐみ、かへりきぬ。

山のあなたになほ遠く「幸」住むと人のいふ。

「末代無智に言う他カ本願(如来様からの愛のメッセージ)に対してどのような形で答えることができるのか？ 答えようとする気持ちにどうすればなれるのか？ 1日の長い時間の中でほんの一瞬でも、そのようなことを考える時間をもつことが出来れば、それはなんと素敵なことでしょう。そのような気分になった時、またお会いできれば幸いです。お会いしましょう。」ご住職のいつもの温和な笑顔と魅力的なお声で講話を終えられた。有難うございました。これからもご支援よろしくお願い致します。

## 6月のせいりょう園の様子



野口南小学校6年生との交流会がありました  
緊張が伝わってきます

(1日～4日)



トランプは  
子供さんには  
負けないヨ！



ソーラン節の勇ましさに元気をもらいました

翌週はトライやるウィークでした

中部中学校の生徒さんたちが、介護の体験学習に来られました

(7日～11日)



## 介護についてみんなで語ろう会

テーマ「介護に困ったら相談しよう」 5月28日(金)

せいりょう園老人介護支援センター  
社会福祉士 吉田 知一

皆さんは、介護に困ったとき、どこに相談すればよいかお分かりですか？

介護保険が始まって10年が経ち介護に関係する相談窓口もたくさんできましたが、介護が必要になった時にどこに何を相談すれば良いか分からない、といったことを良く聞きます。たとえば、介護保険の申請をするには、どこへ行けば良いか？施設に入所したいがどこに相談すれば良いか？ケアマネジャーはどこにいるのか？など、介護が必要になったとしても本人、家族の状況によっては、相談する窓口が違ってきます。

介護に関する相談窓口を少し紹介したいと思います。

### 加古川市地域包括支援センター

高齢者の皆さんが住みなれた地域で生活していけるよう、保健、医療、福祉などのさまざまな面から総合的に支援する、地域の相談窓口が、行政の委託を受け市内に6ヶ所あります。必要なサービスや制度、関係機関の情報提供や紹介をしています。その他、介護予防の支援、高齢者虐待防止、介護者のつどいなどもおこなっています。

### 居宅介護支援事業所

介護が必要となった本人、在宅で介護されているご家族が気楽に専門家に相談できる身近な窓口です。介護保険制度を利用するとき、ケアマネジャーが本人やご家族の要望を尊重しながら、適切な介護サービスが利用できるように支援するところです。

### 病院の地域連携室

病院内の医療福祉相談員（MSW）が入院・外来を問わず、医療チームの一員として、医師・看護師等の院内スタッフはもとより、地域の関連機関とも連携をとりながら、サポートする相談窓口です。

- ・医療費の支払いに心配がある
- ・身体障害者手帳や難病公費負担医療などの社会保障サービスについて知りたい
- ・リハビリテーションや療養を目的とした病院・施設を紹介してほしい
- ・医療保険や介護保険を利用して在宅サービスを受けたい 等

認知症の診断を受けたい時にどこの病院へ行ったら良いか分からない、といったお話をお聞きすることがあります。今回、加古川市認知症地域資源ネットワーク構築推進協議会で作成した「認



知症相談支援マップ」が広報かこがわ 6 月号と一緒に全戸配布となりました。そのマップには認知症に関する相談窓口が載っているので紹介したいと思います。

### 認知症相談医

ご本人の少し気になる「もの忘れ」あるいは認知症について、気軽にご相談いただける専門医療機関です。

必要に応じて認知症の精密検査をする医療機関を紹介します。予約制のところもあります。

### もの忘れ外来

認知症の精密検査を行う専門医療機関です。予約制になっているので事前に連絡が必要になります。認知症の診断は記憶認知機能のテスト、血液検査、CTやMRIといった脳の断面図を見て脳の委縮などから画像診断を行います。

### 消費生活センター

一人暮らしの高齢者を狙った強引な訪問販売や振り込み詐欺、悪質商法、多重債務のことなどの相談窓口です。特に認知症を患っている方は被害に遭われている方が多いようです。  
※加古川市では交通安全課内にあります。

### ○グループワーク

#### 介護に困った時は、どこに相談すればよいか？

- ・認知症の症状を家族が受け入れることが出来ず、介護に悩んでいるケースはたくさんある。出来ることなら、早くに受診することで認知症という病気である、という認識を持って欲しい。
- ・利用する本人の為の相談窓口やサービスであるのなら、もっと分かりやすい名前にして欲しい。難しい漢字ばかりで分からないし、何を相談すればいいか分からない。
- ・ホームヘルパーのサービスの出来ること、出来ないことがよく分からない。訪問看護サービスで看護師が家に来て何をしてくれるのか分からない。
- ・(ご主人の両親の介護をして自宅で看取った方)  
主人はまったく介護に関わらず、嫁の私がほとんど介護してきたが、何で私が・・・という葛藤があった。当時は介護保険も始まる前で病院などを転々とした。病院の相談員と相談して自宅で看取ることができた。
- ・寝たきりで介護が必要な状態であったが、温泉旅行に行きたい、という希望があった。ケアマネジャー、ホームヘルパー、訪問看護師に相談し旅行を実現することができた。
- ・以前、一人暮らしで閉じこもりがちになっていると民生委員に相談したら、地域包括支援センターを教えてもらい、ふれあいいいききサロンを紹介してもらった。
- ・一人暮らしで認知症の方の生活を支えることは、家族や介護保険のサービスだけでは難しい。地域の皆さんの支えが必要だと思う。



## ○感想

相談する場所が分からない、という以前に自分自身が困っているということを訴える力のない方、もしくは「介護が必要な状態」を表に出すことができない方は、苦しい状態を抱えているのではないかと思います。特に家族だけで介護を抱え込んでしまうよりも他人の目を受け入れ、客観的な立場、専門職の立場からその方の生活を見てもらう勇気も必要なことだと感じています。

今回のグループワークの中でも一人暮らしで認知症の方の生活を支えることは、火の元のこと、徘徊、強引な訪問販売など問題が多く家族だけではなく介護保険のサービスを利用し、地域の支援を得ることが必要だという意見がありました。その為には、周りの方の気遣いや声かけが大切だと思うのですが、監視のような見守りになってしまうと支援する側も疲れてしまうので、ほどほどの見守りで本人の力に任せることも大事であると思いました。

相談窓口はたくさんあり、受け付けている相談内容も様々なものがあります。本人の状態、家族の状態によっては相談する窓口が違う場合もあります。しかし利用者の生活は連続していますので、介護が必要になってから寿命を全うするまでの期間をどう支えるのか、私たちの役割をもっと考える必要があるのではないかと感じました。

### 次回の介護について語ろう会は？

- 6月 テーマ「せりょう園の施設紹介」
- 7月 テーマ「介護保険のできること できないこと」

#### せりょう園 毎週の行事

- 月曜日 のびのびルーム（自彊術）
- 火曜日 のびのびルーム（映画会）
- 水曜日 のびのびルーム（カラオケ）  
音楽療法  
自彊術療法
- 木曜日 のびのびルーム（自彊術）
- 金曜日 ピアノ教室  
陶芸教室
- 第2火曜日 折り紙教室
- 第1・3火曜日 書道教室
- 第2・4水曜日 お話グループ・福寿草の会

#### せりょう園 7月の行事予定

- 7月 5日(月) 仏教講話
- 7月10日(土) 園長との懇談
- 7月19日(月) 美容の日(従来型)
- 7月21日(水) 美容の日(ユニット型)  
昼食会(おでん)
- 7月23日(金) 介護についてみんなで語ろう会  
～介護保険のできること  
できないこと～
- 7月26日(月) 理容の日
- 7月30日(金) 郷土料理(きつね寿司)

#### せりょう園 待機者状況

<平成22年 6月9日現在>

- 入所判定済み者 345名  
グループの内訳  
Ⅰグループ…125名/Ⅱグループ…145名/Ⅲグループ…72名
- 入所判定済み者の現在状況  
在宅128名/他特別養護老人ホーム入所中9名/医療機関入院中101名  
老人保健施設入所中82名/ケアハウス入居中7名/グループホーム入居中10名/不明5名  
辞退その他  
他施設入所2名/死去1名